

【学校の教育目標】 磨き合う緑陽～「もっとよい自分」づくりを基盤として～

【学校課題】

- ・自己肯定感の涵養
- ・人間関係形成能力の育成
- ・自己解決力の育成
- ・学力の向上
- ・進路学習（キャリア教育）の充実

【学校経営の方針】

これからの社会をよりよく生きていける子どもを育てる

- 自分の将来に夢をもつことができる
- 目標を高く設定し、その実現に向けて邁進することができる
- 社会に出てからも使える資質・能力を身に付けることができる

【各務原市の指導の方向と重点】

- 誇り・やさしさ・活力のある児童生徒
～一人一人が幸せを実感できる学校教育～
- ◇一人一人にたくましく生き抜く力を育成する
 - ◇一人一人が安心して学べる教育環境を提供する

【学校経営の柱】

一人ひとりの生徒が“主体性”をもち、集団に“活力”がある学校づくり

- 自己肯定感・自己有用感の涵養
- ・『緑陽ヒーローズ』の取組
- 確かな学力をつける学習指導
- ・社会で生きる資質・能力の育成
- ・「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善
- 自治力を発揮した生徒会活動
- ・生活の向上を図る常時活動や重点活動

自分の未来への希望づくり
（「自分づくり」へのモチベーションづくり）

- 本物との出会い事業
- ・本物の凄さ、プロの素晴らしさにあこがれを抱く
- 職業講話・進路講話
- ・将来への夢（可能性）をふくらませる
- 関連した総合的な学習と宿泊学習
- ・3年間継続したキャリア学習
- ・自分の目で確かめて問題解決する経験の積み重ね

家庭や地域との“絆”づくり

- 活発なボランティア活動
- ・豊かな心を育む伝統のひとつ
- ・地域を支える中学生としての活動
- ふれコミ隊、MSJリーダーズ
- 地域への発信
- ・フリー参観
- ・体育祭や合唱交流会等への招待
- PTA・地域の諸団体との連携
- ・あいさつ運動 環境整備

【高めたい3つの姿】 ◆自分で考える ◆他者と対話する ◆あきらめずに続ける

【学校経営の基盤】

学年経営の充実(学年会の活性化)

- 「居場所づくり」と「絆づくり」
- ・所属感もてる学級づくり
- ・仲間を思いやる心の伸長
- 学年としての高まりの生み出し
- ・切磋琢磨できる雰囲気づくり
- ・学級組織の活性化
- ・学年で共通した取組の位置付け
- 【安心を生み出す1年】
- 【絆づくりの2年】
- 【実現する3年】
- 学校生活の4本柱（学習・合唱・清掃・ボランティア）の重視

セクションチーフ制・3指導部の指導

- 学校生活の秩序の向上
- ・正しい身なり、時間行動
- ・学習規律の確立
- 一人ひとりの安心・安全の保障
- ・生徒の心に寄り添う教育相談（不登校傾向生徒、外国籍生徒）
- ・“想定外”を想定する危機管理
- 組織で動く
- ・「報連相」の徹底
- ・早期対応と確実な見届け
- ・教育相談委員会、特支教育委員会の機能充実

関係諸機関との連携・協力

- 小学校との連携を一層深める
- ・教科指導研究、生徒指導交流
- ・行事での児童生徒交流
- ・児童会と生徒会の共同活動
- コミュニティ・スクールへの動き出し
- ・教育資源の活用
- 【ホームタウンティーチャー】募集
- 諸団体との交流
- ・家庭教育力の向上を図る取組
- 【ノーメディアデー】の推奨

教職員の資質向上

- 『常に子どもを大切する視点から発想する』教師集団
- 教職員個々のスキルアップ
- ・徹底したOJTの推進
- ・教務主任、生徒指導主事による若手教員研修
- ・YTC(若手教員の自主研修会)
- 教職員がそれぞれの“持ち味”を発揮する 「独創を認め、独走を許さず」 同僚性の発揮